

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Aチーム）

法人名	チ ー ム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
北海道大学	A	重大な改善事項	順調	順調	一定の注目事項
筑波大学		順調	一定の注目事項	順調	順調
千葉大学		順調	順調	順調	順調
新潟大学		一定の注目事項	一定の注目事項	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

### 評定「特筆」がある法人とその要因

該当なし

### 評定「一定の注目事項」がある法人とその要因

北海道大学：その他業務運営

- 環境負荷の軽減
- アジア初となる欧州国際水準の獣医師育成教育機関に認定

筑波大学：財務内容の改善

- 「事務系戦略枠」の設定
- エビデンスに基づく事業評価システムの構築
- 「AI研修」等のエクステンションプログラムによる自己収入の拡大

新潟大学：業務運営の改善及び効率化

- IRIに基づく学長裁量経費の配分
- 職員採用試験の枠組みの見直しによる優秀な人材の確保
- 全学会議の見直し

#### 新潟大学：財務内容の改善

- 特定基金を活用した寄附金の増加
- 「学内研究設備ファンド」の新設
- 経費節減・収入増に向けた取組

### 評定「おおむね順調」または「遅れ」がある法人とその要因

該当なし

### 評定「重大な改善事項」がある法人とその要因

#### 北海道大学：業務運営の改善及び効率化

##### ○ 学長の解任に至る内部統制の課題

北海道大学においては、長期にわたり学長が職務を遂行できていない状況にあった。この間、法人においては国立大学法人法の規定により、理事が学長の職務を代理し、中期目標の達成に向け、中期計画及び年度計画に基づく取組を着実に実施していたことは確認できている。

一方で、総長選考会議から文部科学大臣に対し、学長解任の申し出がなされ、また、実際に文部科学大臣による学長の解任が行われたことは、法人の組織体制や内部統制に課題があったと考えられ、学長選考等に係るガバナンスや学長のマネジメントに対する不信を招くとともに、北海道大学の社会的信頼を著しく傷つける事態となった。

また、職務が遂行できていない状況の中での学長の期末手当について、本来監事等による減額の是非を検討すべきであったところ、その検討を経ずに全額支給されていることに対して、各法人の給与等の水準の妥当性を確認する大臣検証においても、「妥当であるとは言えないと考える。」とされている。

このため、令和2年10月に任命された新しい学長の下で、社会からの信頼回復に向けて、法令遵守や内部統制機能の強化等、全学一丸となって取り組んでいくことが強く求められる。

## 各法人の状況

### 北海道大学

#### 【注目される点】

#### ○ 学術・産学連携統合データベースの構築

学術・産学連携統合データベースを平成31年4月に構築し、本格的に学内展開を開始している。データベースには、産学・地域協働推進機構が保有する産学連携関連情報に加え、学内に散在する研究関連情報を集約している。データベースを活用することで、産業構造の変化を先読みした、新たな産学連携のためのポテンシャル分析が可能となり、企業に対して的確な共同研究提案や特許ライセンス提案を開始するなどにより、令和元年度の知的財産収入は対前年度比31%増の1億2,941万円となっている。 等

#### 【遅れている点】

#### ○ 研究費の不適切な経理

### 筑波大学

#### 【注目される点】

#### ○ 「AI研修」等のエクステンションプログラムによる自己収入の拡大

大学の高度で先駆的な研究・教育分野から生み出された最先端の学問の社会還元を目的に、社会的ニーズが高いAI分野について民間企業向けの研修プログラム「AI研修」を実施するなど、エクステンションプログラムとして21講座を開講している。令和元年度については、新型コロナウイルス感染症防止対策により5講座が中止となったが、受講料収入は合計4,800万円を獲得している。 等

### 千葉大学

#### 【注目される点】

#### ○ 大学院総合国際学位プログラムの設置

令和元年度8月に大学院設置基準が改正され、2つ以上の緊密に連携協力する研究科等の学内資源を活用した、研究科横断的な新たな学位プログラムを設置することが可能となっている。本制度を初めて活用し、新たな学位プログラム「大学院総合国際学位プログラム」を設置することとしており、持続可能社会への転換や生命科学の進展、高度情報化社会の到来が提起する問題に取り組み、社会システムや知識の在り方そのものを再構築し、新たな知性を備えた人材を育成することを目指し、人文社会科学、自然科学、生命科学の研究領域を混合したプログラムを構築している。 等

## 新潟大学

### 【注目される点】

#### ○ 「学内研究設備ファンド」の新設

大学、共用設備基盤センター、研究者が出資し、共同購入する「学内研究設備ファンド」の仕組みを新たに整えている。設備導入を希望する研究者から出資金を募り、学内予算と研究者の外部資金等を合算することで、要望が高い大型共用設備の計画的な導入を進めている。 等

### 【遅れている点】

#### ○ 情報セキュリティマネジメント上の課題

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Bチーム）

法人名	チーム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
神戸大学	B	順調	順調	順調	順調
岡山大学		順調	順調	順調	順調
広島大学		順調	順調	順調	順調
九州大学		順調	順調	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

### 評定「特筆」がある法人とその要因

該当なし

### 評定「一定の注目事項」がある法人とその要因

該当なし

### 評定「おおむね順調」または「遅れている」がある法人とその要因

該当なし

## 各法人の状況

### 神戸大学

#### 【注目される点】

#### ○ 土地の有効活用

楠団地（病院・医学部地区）において、地域における医療体制の充実と高度な地域医療サービスを適切に提供していくために、地区計画制度を活用し容積率の上限を緩和する手続きを進め、神戸市における容積率緩和の条例改正につなげた結果、資金を投じず新たに14,000㎡相当の土地を取得すると同様の効果を得られることとなり、狭隘化によるスペースの課題を解決し、多様な医療ニーズに対応していくことが可能となっている。等

### 岡山大学

#### 【注目される点】

該当なし

### 広島大学

#### 【注目される点】

#### ○ 多様な財源を活用した整備手法による整備

企業からの寄附等により、多目的ホール「福山通運小丸賑わいパビリオン」（159㎡）やサッカーグラウンド「東広島ドリームフィールド」（人工芝舗装7,883㎡）の整備を行っている。さらに、世界トップレベルの外国人研究者や留学生を受け入れるための国際交流拠点を整備するため、東広島市から5億円の支援を受けることが決定し、自己資金10億円と合わせて国際交流拠点施設（約4,000㎡）の契約を締結し整備に着手している。

#### 【遅れている点】

#### ○ 研究活動における不正行為

#### ○ 研究費の不適切な経理

## 九州大学

### 【注目される点】

#### ○ 土壤汚染対策費の支出抑制

移転跡地の土壤汚染対策に係る支出抑制の取組として、跡地処分統括室土壤汚染対策部門の研究・開発チームが、土壤汚染対策工事の受注者との共同研究により汚染土の高度な浄化技術を確立することで構外搬出量を抑制している。水銀汚染土については、浄化基準の6倍が浄化可能限度であった従来の土壤洗浄技術に対し、令和元年度時点では40倍までという飛躍的な成果を上げ、その研究成果を対策工事に取り入れて対策費の縮減に大きく寄与するとともに、環境負荷の軽減にもつながっている。 等

### 【遅れている点】

#### ○ 入学者選抜における出題ミス

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Cチーム）

法人名	チーム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
小樽商科大学	C	順調	順調	順調	順調
福島大学		順調	順調	順調	順調
筑波技術大学		順調	順調	順調	順調
東京外国語大学		順調	順調	順調	順調
東京芸術大学		順調	順調	順調	一定の注目事項
一橋大学		順調	順調	順調	順調
滋賀大学		順調	順調	順調	順調
政策研究大学院大学		順調	順調	順調	おおむね順調
総合研究大学院大学		順調	順調	順調	順調
北陸先端科学技術大学院大学		順調	順調	順調	順調
奈良先端科学技術大学院大学		順調	順調	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

### 評定「特筆」がある法人とその要因

該当なし

### 評定「一定の注目事項」がある法人とその要因

東京芸術大学：その他業務運営

- 施設設備の整備・活用等及び安全管理に関する取組
- 産官学・地域連携プロジェクトによる魅力ある街づくりの取組

## 評定「おおむね順調」がある法人とその要因

### 政策研究大学院大学：その他業務運営

#### ○ 情報セキュリティマネジメント上の課題

情報セキュリティに係る組織や体制の強化を講じているものの、その後も情報セキュリティインシデントが発生するなど、必要な情報セキュリティ対策が講じられているとは言えないことから、再発防止に向けた更なる技術的な対策及び組織的な取組を早急に実施することが求められる。

## 評定「遅れている」がある法人とその要因

該当なし

## 各法人の状況

### 小樽商科大学

#### 【注目される点】

#### ○ 教育の質保証体制の強化に関する取組

教学マネジメントにおいて、教育効果の可視化・検証により全学的な教学の改善を支援する体制の強化を目的として、令和元年度に教学IR室を新たに設置し、教育の質保証体制を強化するとともに学生の学修成果を評価するためのアセスメント・ポリシーを策定している。また、アクティブラーニング教育効果の検証のための実施方針・実施計画を定め、アセスメントテスト「GPS-Academic」を活用した初年次教育「総合科目Ⅱ」におけるジェネリックスキルの測定やコンピテンシー評価ツール「GROW」を活用した学外学修（正課科目「事情科目」、「社会連携実践」等）におけるジェネリックスキルの測定を実施している。等

### 福島大学

#### 【注目される点】

#### ○ 最先端研究設備の学外貸出制度の導入

企業、他大学への研究開発支援のため、大学が所有する最先端の研究設備を学外者に貸し出す制度を開始し、平成30年度の「超高速食品機能成分質量イメージング装置」に続き、令和元年度は最先端の香り分析装置「食品機能成分ガスクロマトグラフ質量分析計」と「食品香気成分トリプル四重極型ガスクロマトグラフ質量分析計」の外部利用を開始している。これにより、3装置合わせた使用料収入は900万円を超えている。

## 筑波技術大学

### 【注目される点】

#### ○ 新型コロナウイルス感染症に対する障害学生支援への対応

新型コロナウイルス感染症に対する障害学生支援への相談対応として、他大学から聴覚障害学生への授業時のノートテイク派遣に関して感染防止の観点からルール作りをしたいとの相談を受けたことから、自治体の意思疎通支援事業における取組事例の紹介や情報提供を行っている。これを契機に、PEPNet-Japan正会員大学等を中心に感染拡大防止の対応についての情報交換が進み、オンライン授業における情報保障に関わるコンテンツの作成や大学間の情報共有の動きにつながっている。 等

## 東京外国語大学

### 【注目される点】

#### ○ 西東京三大学の連携による文理協働型の「共同サステナビリティ研究専攻」の開設

西東京三大学（東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学）の連携により、グローバル化社会の抱える環境破壊、文化対立、経済格差といった地球的規模の課題を分野横断的な問題として捉え、他分野の研究成果を取り入れることによってイノベーションを生み出すことができる学際的、越境的な実務人材の養成を目的とした共同教育課程「共同サステナビリティ研究専攻」を大学院博士後期課程に開設している。専攻では主指導教員1名と東京農工大学及び電気通信大学の2名の副指導教員による協働的教育体制（トリプレット体制）に基づいた文理協働的教育の仕組みを導入している。

## 東京芸術大学

### 【注目される点】

#### ○ 産官学・地域連携プロジェクトによる魅力ある街づくりの取組

茨城県取手地区の活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展のため、大学、茨城県取手市、東日本旅客鉄道株式会社東京支社（JR東日本）、株式会社アトレの四者が産学官の連携を結び、アート・公共・商業の融合により多様なニーズに応え、専門性の高い学習・体験プログラム等の特徴とした複合文化交流施設である「たいけん美じゅつ場（以下VIVA）」を開設している。VIVAのハード面の構築・改修等は取手市・JR東日本・アトレが担い、大学はアイデアやプラン、スタッフ等のソフト面を提供する形とすることにより、アートによる商業施設の再活性化、多様な人々が交流できる空間の創設による地域振興及び魅力あるまちづくりの促進を図りつつ、大学は施設整備に係るコストの負担なく、アートを活用した実践の場を獲得している。 等

## 一橋大学

### 【注目される点】

#### ○ 産学官連携活動支援に関する取組

共同研究等の産学官連携活動を推進し、株式会社東京商工リサーチ（TSR）と共同出願を行い、企業の将来予測を行う技術として「企業情報処理装置、企業のイベント予測方法及び予測プログラム」が特許として認定されるとともに、有限責任あずさ監査法人と共同出願を行い、勘定科目レベルで不正会計の検知を行う技術として「会計情報処理装置、会計情報処理方法及び会計情報処理プログラム」が特許として認定されている。等

## 滋賀大学

### 【注目される点】

#### ○ 国際交流機構の設置と高度専門職員の採用

グローバル化に対応した人材育成機能及び国際的研究連携力の強化を目指して、国際企画部門と留学生支援部門からなる国際交流機構を設置するとともに、グローバル化をさらに進展させることを目的として、国際交流機構に「高度専門職員」（特命教授）のポストを新設し、国際機関上級職経験のあるエキスパート人材を採用している。高度専門職員は、大学の中長期的なグローバル化戦略の設定に中心的な役割を果たすなど、これまでの経歴を活かして活躍している。

## 政策研究大学院大学

### 【注目される点】

#### ○ ZEB関連技術(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の導入

留学生等への日本の技術の紹介として、自然採光システムや次世代人検知システム等民間資金で設置したZEB関連技術(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル：快適な室内環境を実現しながら消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物)を大学の施設に導入している。

### 【遅れている点】

#### ○ 情報セキュリティマネジメント上の課題

## 総合研究大学院大学

### 【注目される点】

#### ○ 教育活動情報に基づく自己点検・評価活動

教育開発センターにおいて、研究者人材育成に係る学修成果を把握するために、自然科学研究機構と協力して学位論文研究活動の状況の調査・分析を行うとともに、企画室において、修了生追跡調査を実施している。これらの調査等によって収集した教育状況に関する情報や学籍情報について、統合データベースを導入して一元的に統計情報を共有できる仕組みを構築するとともに、これらの情報を基に様々な統計情報をまとめた「Fact Book」を発行している。

## 北陸先端科学技術大学院大学

### 【注目される点】

#### ○ 人事給与マネジメント改革の推進による若手教員比率等の増

教員公募において、新たな年俸制の下での職位ごとの基本給、業績連動給及び諸手当を明示することにより、若手研究者からの積極的な応募を促進するとともに、職位（教授、准教授、講師、助教）ごとの固定給と、教員の業績評価結果及び大学の間接経費等収入を連動させた変動給からなる新たな年俸制度を開始した結果、研究科本務教員における若手教員比率は、平成30年度の35.4%から令和元年度は36.2%と過去最高となっている。また承継職員のうち、年俸制適用者は平成30年度の37.2%から令和元年度は49.0%となっており、平成30年度に上方修正した目標値（年俸制適用比率40%）を上回って達成している。

## 奈良先端科学技術大学院大学

### 【注目される点】

#### ○ 男女共同参画推進の取組

女性教員の採用促進に向け、女性限定公募を積極的に実施するとともに、「学長裁量枠」経費として「女性研究者スタートアップ研究費」と「女性教員採用インセンティブ経費」を平成30年度予算額の3倍以上となる約5,000万円確保し、戦略的に配分している。また、育児等で時間に制約のある研究者を補助する「アカデミックアシスタント制度」により7名の研究者をアシスタントとして配置し、大学独自の育児支援「プラスα保育」を継続的に実施するなど、女性教員等による教育研究活動を支援している。特に「プラスα保育」については、これまでの運用状況や女性教員等からのリクエストも踏まえてその支援範囲を拡大し、新たに、新生児の沐浴、食事準備・清掃等の産後サポートを行う「産後ケア・家事ケア」を開始している。 等

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Dチーム）

法人名	チ ー ム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
室蘭工業大学	D	一定の注目事項	順調	順調	順調
帯広畜産大学		順調	順調	順調	順調
北見工業大学		順調	順調	順調	順調
東京農工大学		順調	順調	順調	順調
東京海洋大学		順調	順調	順調	順調
電気通信大学		順調	一定の注目事項	順調	順調
長岡技術科学大学		おおむね順調	一定の注目事項	順調	順調
名古屋工業大学		順調	一定の注目事項	順調	順調
豊橋技術科学大学		順調	順調	順調	順調
京都工芸繊維大学		順調	順調	順調	遅れ
九州工業大学		順調	順調	順調	順調
鹿屋体育大学		順調	順調	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

### 評定「特筆」がある法人とその要因

該当なし

## 評定「一定の注目事項」がある法人とその要因

室蘭工業大学：業務運営の改善及び効率化

- 地域に貢献する長期研究戦略ビジョンの策定
- RPA の導入
- 年功序列によらない執行部体制の構築

電気通信大学：財務内容の改善

- 新たな収入源の確保に向けた取組
- 大学基金による多様な受入れメニューの整備

長岡技術科学大学：財務内容の改善

- SDGs 私募債による SDGs の推進
- 研究設備・機器の共同利用の推進

名古屋工業大学：財務内容の改善

- 「産学官金連携コンソーシアム制度」の活用
- 年度計画を著しく上回る計画の実施

## 評定「おおむね順調」がある法人とその要因

長岡技術科学大学：業務運営の改善及び効率化

- 年度計画の未達成

「若手教員の割合を30%とする。」(年度計画19-04-1)については、若手教員の割合は平成28年度(25.5%)より年々減少し20.1%となり、若手教員の確保が進んでいるとはいえないため、年度計画を十分には達成していないものと認められる。

## 評定「遅れている」がある法人とその要因

京都工芸繊維大学：その他業務運営

- 知的財産管理体制の不備

前理事・副学長(知的財産担当)が特許出願手続において、大学に無断で契約の締結や冒認出願等をはじめとした不正行為を行ったことが確認され、その多くが知的財産の責任者である理事・副学長の立場を利用し、自身の立ち上げたベンチャー企業へ利益還元できるように任務違背行為を行ったものとして、懲戒解雇となった事案が認められた。役員である管理者自身によって不正行為を行ったことは、ガバナンスや管理体制、コンプライアンスの徹底に問題があったと認められ、知的財産管理体制の強化や職員への教育研修等、再発防止に向けた組織的な取組を更に実施することが強く求められる。

## 各法人の状況

### 室蘭工業大学

#### 【注目される点】

#### ○ 地域に貢献する長期研究戦略ビジョンの策定

40年後の北海道の姿を大学の教員自らが描き、そこからバックキャストして大学が科学技術でどのように地域に貢献していくかをまとめた、長期的な視野に立った北海道の将来像とそれを実現するための研究戦略「北海道MONOづくりビジョン2060」を策定しており、令和2年度から本取組を加速するために未来創造推進経費を新たに創設し、本ビジョンで掲げた研究課題の学内公募を予定している。 等

### 帯広畜産大学

#### 【注目される点】

#### ○ 土地の有効活用

稲田宿舍の廃止に伴う土地を有効活用するため、企業集積地と位置付けた土地において、上川大雪酒造株式会社との連携協定に基づき、大学キャンパス内への日本酒蔵の設置を決定している。設置される酒蔵では、酵母・発酵に関する共同研究や杜氏による講義・実習等、当該土地を新たな教育活動に有効活用するほか、土地貸付料として毎年150万円の収益を確保している。

### 北見工業大学

#### 【注目される点】

#### ○ 外部資金獲得増に関する取組

共同研究実績がある企業へのアンケート結果の分析や外部資金獲得に貢献した教員への報奨金の支給に加え、地元自治体から無償貸与された遊休公共施設（競馬場跡地）を実証実験フィールドとして、実物大の大型実験施設（屋根型林道実験設備等）を設置したことにより、令和元年度の共同研究数は127件となり第2期中期目標期間の平均に比して56.8%増加している。

### 東京農工大学

#### 【注目される点】

#### ○ プラスチック削減に係る情報発信

環境省の提唱するプラスチック資源循環戦略(3R+Renewable)に、本学の研究チームによる研究（Research）を加えた「プラスチック削減5Rキャンパス」宣言を行い、2050年に向けた、教育、研究、学内環境整備について、学長及び理事による記者会見を行い情報発信を行っている。また、東京都と協定を締結し、本学の研究成果に基づく社会貢献活動として、東京都が行うプラスチック削減の普及啓発活動に協力している。 等

## 東京海洋大学

### 【注目される点】

#### ○ デジタルアーカイブを用いた研究成果等の発信

公益社団法人日本水産学会と協議を行い、当該学協会の発行する「日本水産学会誌」及び“Fisheries Science”に受理された本学教員の論文については、学術情報課（附属図書館）が代行して申請を行うことが可能となったことにより、「論文原稿を学術情報課（附属図書館）に提供する」というシンプルなプロセスで、リポジトリOACISからの論文公開が可能となり、科研費による研究成果のOACISにおける公開件数及び当該研究成果へのアクセス数が大幅に増加している。

## 電気通信大学

### 【注目される点】

#### ○ 新たな収入源の確保に向けた取組

相手方の要望・資金を最大限配慮することを可能にするため、対象施設や金額・公募期間等をあらかじめ特定しない独自のネーミングライツ制度の整備・運用のほか、「AI・セキュリティ人材育成」に係る社会人向けプログラムの新規開講等により、講習料、財産貸付料収入等の雑収入は、第2期中期目標期間最終年度と比して、約1.5倍となる約1億円を獲得している。 等

## 長岡技術科学大学

### 【注目される点】

#### ○ SDGs私募債によるSDGsの推進

りそな銀行等が運用する私募債の発行額の一部を、SDGsを推進する組織に寄附する制度（SDGs私募債）の寄附先に指定され、令和元年度は、54社から675万円の寄附を受けている。本寄附はSDGプロフェッショナルコース留学生への奨学金に活用可能となり、発展途上国からの留学生受入れにつながっている。 等

## 名古屋工業大学

### 【注目される点】

#### ○ 優秀な女性研究者の確保と新たなキャリアパスの形成

研究者を目指す女性の若手研究者を対象とした国際公募採用の実現を含む新たな女性研究者育成戦略を策定したことにより、任期付きの助教として在籍しながら博士の学位を取得し、テニユアの研究者を目指すことが可能となっている。 等

## 豊橋技術科学大学

### 【注目される点】

#### ○ 産学連携活動の活性化

協定を締結した組織対組織の機関連携型共同研究協定の締結先企業において、業務上の課題を解決するための実習を含めた個別カリキュラムを構築し、個別企業の実情に応じた効果的なリカレント教育を実現、研究に携わる研究者の育成を継続的に進めるとともに、人材育成に係る経費を徴収することにより独自の自己収入増加に寄与する取組を新たに開始している。

## 京都工芸繊維大学

### 【注目される点】

#### ○ グローバル化に対応した教職員の高度化

従来実施していた「海外教育連携教員派遣制度」を平成30年度までに本制度により派遣した教員の研究室を「国際化モデル研究室」に指定し、独自財源等での活動を奨励する制度に変更している。国際化モデル研究室では、教員海外派遣を契機として開始したコチュータルによる学生指導、新規締結した協定に基づく留学生の受入れや学生海外派遣、海外の研究者を招へいたセミナーや集中講義といった活動を実施しており、教員の海外派遣が大学の国際化に直結する事業となっている。 等

## 九州工業大学

### 【注目される点】

#### ○ 分野間補正法「SURE-Metrics」を使用した教育職員評価の実施

研究分野の特性を考慮した正規化指標群「SURE-Metrics」による正規化論文数・正規化被引用数を教育職員評価の評価項目に取り入れている。令和元年度は17大学のデータを活用し、分野間補正を行うことで研究者のパフォーマンスを客観的に図ることができる仕組みとしている。 等

## 鹿屋体育大学

### 【注目される点】

#### ○ オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致

オリンピック・パラリンピック戦略推進室を中心に、鹿屋市及び鹿児島県に加えて曾於郡大崎町と協力し、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致活動を行い、自治体と台湾及びトリニダード・トバゴ共和国との協定書締結へ貢献するなどオリンピック・パラリンピック関連の事業を推進している。 等

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Eチーム）

法人名	チ ー ム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
北海道教育大学	E	順調	順調	順調	順調
宮城教育大学		順調	順調	順調	順調
東京学芸大学		順調	順調	順調	順調
上越教育大学		順調	順調	順調	順調
愛知教育大学		順調	順調	順調	順調
京都教育大学		順調	順調	順調	順調
大阪教育大学		順調	順調	順調	順調
兵庫教育大学		順調	順調	順調	順調
奈良教育大学		順調	順調	順調	順調
鳴門教育大学		順調	順調	順調	順調
福岡教育大学		順調	順調	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

### 評定「特筆」がある法人とその要因

該当なし

### 評定「一定の注目事項」がある法人とその要因

該当なし

### 評定「おおむね順調」または「遅れている」がある法人とその要因

該当なし

## 各法人の状況

### 北海道教育大学

#### 【注目される点】

#### ○ 寄附金獲得に向けた取組

寄附獲得を促進するための新たな取組として、各キャンパス長が事業を企画・立案し、事業費に応じて寄附目標額を定め、寄附目標額を達成した事業から順次学内予算を充当し事業を実現する「キャンパス活性化リノベーション事業」を創設し、4件を採択しており、事業それぞれが寄附金獲得に努めた結果、当該事業4件全てが寄附目標額を達成し、合計約1,000万円（目標額：882万円）を獲得している。これらの取組により、寄附金獲得額は、平成30年度に引き続き中期計画に掲げる目標額「3,000万円」を上回る約3,230万円となっている。

### 宮城教育大学

#### 【注目される点】

#### ○ キャンパスマスタープラン等による施設整備

「今度の宮城教育大学の施設の運営・整備の基本的な方針について」及び「インフラ長寿命化計画」を策定し、改修を実施して学生の自主的な学びの場となる共同利用スペースを学内で初めて確保するほか、小学校教員を目指す学生には体育が苦手分野なケースが多いことを考慮した「スポーツパフォーマンスコーチ」を整備し、ビデオ映像によるコーチングサポートツールを導入するなど、体育が苦手な児童生徒を含めての体育指導の向上を図ることができるよう改修を行っている。 等

### 東京学芸大学

#### 【注目される点】

#### ○ 実践的な教育のためのクロスアポイントメント制度を活用した実務家教員の配置

教育学研究科教育支援協働実践開発専攻では、AI工学研究者1名とAI社会実装の実務家専門研究者2名をクロスアポイントメント制度を活用し、学外から専任教員として加えており、この専門領域の異なる3名の採用によりAIに関する最新の知見を幅広く教育内容に取り入れるとともに、大学での教育研究と企業現場での実践の相乗効果を大学の教育へ還元することで実践的な教育を行うとしている。 等

## 上越教育大学

### 【注目される点】

#### ○ 大学院教育に対する評価やニーズ把握のための調査

教育研究の質的向上と教育現場が抱える現代的教育課題への対応を図り、次期の大学改革の資料とすることを目的とし、情報戦略室IR部門において、新潟県内の公立学校教員約11,000名を対象とする「地域の先生とともに歩む上越教育大学の新たな取組に関するアンケート」及び令和元年度入学大学院生約160名を対象とする「新しくスタートした大学院教育の質的向上を図るためのアンケート」を実施しており、調査結果は、令和4年度の大学院改革に活用することとしている。

## 愛知教育大学

### 【注目される点】

#### ○ 教育現場のニーズを踏まえた大学院改組

大学院改組にあたり、県・市の教育長や小・中・高校の校長会長、大学OB・OGなどから構成される「教員養成の質向上に関する会議」において、「外国人児童生徒支援は、愛知県における教育現場のニーズが非常に高く、この分野において全国的に進んでいることから、コース設計に反映してほしい。」との要望・意見を踏まえ、教員の高度化や学校の諸課題に適切に対応できる能力の育成を図る4つのコースからなる教育実践高度化専攻と教育現場を支える「チーム学校」の人材を育成する教育支援高度化専攻を令和2年4月に設置することとしている。

## 京都教育大学

### 【注目される点】

#### ○ 教育創生リージョナルセンター機構の充実

「教育創生リージョナルセンター機構」は、平成30年度に改組した「教職キャリア高度化センター」において、「実地教育」と「就職・キャリア支援」の両方の要素を持った事業として、学校ボランティアの単位認定や体育・スポーツ指導力養成プログラムなどを実施しているとともに、京都府・市教育委員会との「連携講座」や、京都府教育委員会と協働した「京都府北部地域教育創生」、京都市教育委員会と協働した「京都市立義務教育学校開校支援」の体制を強化するため、学校現場での管理職経験のある特任教員を新たに1名配置し、インターネットを活用した「先生を“究める”Web講義」動画コンテンツを充実させるほか、特別支援教育臨床実践センターと教育臨床心理実践センターを統合した総合教育臨床センターを平成31年4月に設置し、両センターが担ってきた教育臨床に関する研究・教育をはじめ、発達・教育相談や心理教育相談といった特別支援教育と教育臨床心理に関する事業を有機的に連携させている。

## 大阪教育大学

### 【注目される点】

#### ○ 大阪市教育局との連携による大阪市教員養成協働研究講座の強化

大阪市教員養成協働研究講座の「次世代の学校を担う教員養成のための共同研究」において、令和元年度2,916万円を受け入れており、教職大学院改組に伴い、大阪市教育局出身の実務家教員を前年度からさらに2名配置し、計4名として体制の強化を図っていると同時に、連携による教員育成指標に対応した選択制の行政研修の創発や、新たな教員の資質向上のための研究プログラムを開発し教職大学院の授業科目と位置付ける形で実施している。特に大阪市学校教育ICT推進リーダー養成プログラムでは、のべ40名のリーダーを養成し、大阪市のICT教育の推進に貢献している。

## 兵庫教育大学

### 【注目される点】

#### ○ マトリクス型の事務組織の設置

平成30年12月に開設した教員養成・研修高度化センターを全学的に支援するために、令和元年8月1日付けで事務組織の改編を行い、教員養成・研修企画室を新設している。この組織の特徴は、マトリクス型の事務組織であり、担当職員は教員養成・研修企画室と既存の組織とを横断して業務を行うことで同センターの各部門を支援しており、プロジェクト実施のために既存の課室から職員を集めて横断的な組織とすることで、縦割り組織の弊害を解決してプロジェクトの機動性を高めている。 等

## 奈良教育大学

### 【注目される点】

#### ○ 「契約事務等綱紀保持要領」「契約事務等綱紀保持マニュアル」「行政対象暴力対応マニュアル」を策定

行政対象暴力が急増していること、また、公共調達に対する国民の不信感が高まっていることから、令和元年度に、総務課・財務課・施設課が連携して、「契約事務等綱紀保持要領」、「契約事務等綱紀保持マニュアル」及び「行政対象暴力対応マニュアル」を策定するとともに奈良県暴力団追放センターが開催する不当要求防止責任者講習を総務課長、財務課長及び施設課長が受講し、発注事務を担当する職員が入札契約事務を適正に執行するよう指導を行っている。 等

## 鳴門教育大学

### 【注目される点】

#### ○ 現職教員再教育の機能を強化した大学院改組

学び続ける教員のための大学として、現職教員の再教育の機能を強化した大学院重点化を目指し、4タイプの院生（現職学生・学卒学生／教科系・教職系）に対応したハイブリッド型カリキュラム、10の教科教育領域をそろえた教科横断型教育実践カリキュラム、小学校英語、プログラミング等、現代教育課題に対応したカリキュラムの特徴がある鳴教大モデルの教職大学院を平成31年4月に設置している。

## 福岡教育大学

### 【注目される点】

#### ○ 外部評価を活用した広報活動の強化

平成30年度に実施した広報業務に係る自己点検・評価及び外部有識者の評価を念頭に、改善可能な項目を検証し、広報発信の増加及び学生の積極的な参画の取組を実施した結果、プレスリリースを積極的に発信し、広報に努めプレスリリース数が9件（対前年度比150%増）となるとともに学生を積極的に活用する方策として、学生と大学出身の先生方との座談会を開催し、令和2年3月発行の広報誌の特集として掲載しており、これらの取組を受け、次年度の年度計画において、実施内容について大学の価値を高める戦略的広報の実施について検証することとするなど、外部評価を受けることで、広報業務の改善をする体制を整えている。

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Fチーム）

法人名	チーム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
旭川医科大学	F	順調	順調	順調	順調
東京医科歯科大学		順調	一定の注目事項	順調	順調
浜松医科大学		順調	順調	順調	順調
滋賀医科大学		順調	順調	順調	順調
岩手大学		順調	順調	順調	順調
茨城大学		順調	順調	順調	順調
宇都宮大学		特筆	順調	順調	順調
埼玉大学		順調	順調	順調	順調
お茶の水女子大学		順調	順調	順調	順調
横浜国立大学		順調	順調	順調	順調
静岡大学		順調	順調	順調	順調
奈良女子大学		順調	順調	順調	順調
和歌山大学		順調	順調	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

## 評定「特筆」がある法人とその要因

宇都宮大学：業務運営の改善及び効率化に関する目標

### ○ 両大学長のリーダーシップによる全国初の共同教育学部の実現

約15年先の教員需要の減少を見据え、地域の義務教育課程に責任をもって当たる体制の構築や教員の資質能力向上への要請に応えるため、宇都宮大学と群馬大学の両大学の学長をトップとした協議会及び理事をトップとしたワーキンググループを設置し、教育学部の連携・協力に関する協議を進めた結果、令和2年4月から共同教育学部を全国初として設置することとしており、両大学の連携・協働によるスケールメリットを活かした質の高い教員養成機能の強化及び地域の義務教育課程、教員研修体制に対して責任を持つ組織体制・実施体制を安定して維持していくことを実現している。

## 評定「一定の注目事項」がある法人とその要因

東京医科歯科大学：財務内容の改善に関する目標

- 学内共同教育研究施設の東京都との共同利用
- 外部資金獲得の取組

## 評定「おおむね順調」又は「遅れている」がある法人とその要因

該当なし

## 各法人の状況

### 旭川医科大学

【注目される点】

該当なし

## 岩手大学

### 【注目される点】

#### ○ 社会の変化に対応した機敏な大学運営のための全学委員会の見直し

大学運営に関する会議を削減することによる教員の教育研究時間の確保及び事務業務の削減や、大学の意思決定における権限・責任を整理・明確化し意思決定の迅速化を目的として、審議が必要な事項は「役員会」「経営協議会」「教育研究評議会」の3会議に集約するなどの見直しの方針を決定し、15の全学委員会・専門委員会を廃止するとともに、学長・副学長会議や教育研究評議会・経営協議会と7つの委員会で審議事項・委員構成を見直すなど、全学委員会の見直しを実施している。 等

## 茨城大学

### 【注目される点】

#### ○ 茨城大学基金の創設等による外部資金比率（寄附金）の上昇

基金業務と同窓会業務を一体として推進することを目的とした「基金・同窓会課」の設置や茨城大学基金の創設等といった取組を積極的に推進した結果、地元団体からの大口寄附の獲得等により寄附金収入が平成30年度の1億9,741万円から令和元年度は5億5,150万円と過去最高額となっており、令和元年度における寄附金に係る外部資金比率は約4.2%（対前年度比約2.7ポイント上昇）となっている。 等

## 宇都宮大学

### 【注目される点】

#### ○ 自己収入増加に関する取組

学内のシーズを集約・更新し、全学の研究シーズ集を新たにSDGs項目で取りまとめコラボレーション・フェア等で配布を行うとともに、ウェブサイトへのシーズ掲載・更新や、産学連携イベント、URA等の産学連携活動におけるツールとしての活用を行っている。またURA等と連携し、産官学金を含めた地域との連携プロジェクトの形成を推進した結果、企業等との研究マッチング件数は中期計画に掲げる「マッチング件数を第2期中期計画期間中の平均176件と比較して10%増」を上回る、67件増（38.1%増）の243件となっている。 等

## 埼玉大学

### 【注目される点】

#### ○ 寄附によるグローバル化の推進

埼玉大学基金により、学生の語学力向上、多文化理解に資するものとして外国人留学生と日本人学生との混住型の国際学生寮を設置するとともに、寄附者の意向に沿った給付型奨学金制度「冠奨学金基金」により、留学生を含む学生支援を強化するなど、グローバル・キャンパス構築のための学内環境を整備している。 等

## 東京医科歯科大学

### 【注目される点】

#### ○ 外部資金獲得の取組

臨床研究、治験を含む受託研究の支援体制を構築したこと等により、受託研究件数が957件（平成30年度：857件）、受入額14億8,825万円（平成30年度：12億9,115万円）となっている。また、ライセンス契約収入について、統合研究機構・オープンイノベーション機構・外部専門家（弁理士等）によるライセンス戦略を検討するチームの新設、マイルストーン型の契約形態の積極的な導入、ライセンス対象を特許に限定せず、研究データや試料等にも拡大し、数種の知的資産を組み合わせる事等の取組により、ライセンス契約による収入は8,718万円（平成30年度：2,026万円）となっているとともに、知的財産価値の最大化に導く体制の確立につながっており、令和元年度には知的財産保有額（約2,900万円）に対する著作権料・特許料収入（約1億2,000万円）の割合が過去5年間の平均の約3倍となっている。 等

※ マイルストーン型の契約形態：ライセンス契約の際に、マイルストーンを設定し、その達成度や到達状況に応じて支払いをする契約形態。

## お茶の水女子大学

### 【注目される点】

#### ○ ダイバーシティに配慮したキャンパス環境と新学生宿舎の整備

築50年を超える国際学生宿舎に代わるものとして、大塚キャンパス敷地内に新学生宿舎をBTO方式により建設する整備に着手している。また、日本の女子大学として初めてトランスジェンダー学生の受入れを決定していることを踏まえ、トランスジェンダー学生に対応する施設整備として、多目的トイレ、大学体育館改修工事を実施するなど、計画的なキャンパス環境の整備を実施している。

## 横浜国立大学

### 【注目される点】

#### ○ 企業からの寄附によるフットボール場の再整備

横浜マリノス株式会社からの寄附により、その拠点となるフットボール場の再整備（人工芝敷設1万㎡・夜間照明設置含む）を実施し、大学スポーツ資源を活用した地域貢献・地域連携と青少年・学生の健全な成長を推進しているとともに、資金調達力の向上を図っている。 等

## 静岡大学

### 【注目される点】

#### ○ 教員の人事評価に関する取組

教員データベース等のデータに基づいて、教員の活動状況を6つの指標で数値化し、レーダーチャートによる表示を行い、各教員の長所・課題が分かるようにしている。これにより作成した教員の活動状況のレーダーチャート個人票を、月給制適用教員と新年俸制適用教員の人事評価の最終的な評価に至る前の各評価区分(5段階)の候補者の絞り込みを行う第一次評価に用いる資料として活用することとしている。

## 浜松医科大学

### 【注目される点】

#### ○ 女性管理職登用の取組

女性の管理職登用の機会を拡大させるため、大学組織の管理職体系について、管理する職員数、所掌する業務内容に基づき検討し、附属病院看護部職員(約800名)の管理・運営体制を、管理職1名から5名の体制に変更した結果、女性管理職の比率が平成30年度の10.5%から令和元年度は27.3%と過去最高となっており、中期計画で掲げる目標「15%以上」を大きく上回っている。 等

## 滋賀医科大学

### 【注目される点】

#### ○ 職員による自衛消防隊員の育成

全構成員対象の防災講演会を開催し144名の参加を得ているほか、職員の中に自衛消防隊員9名に加え11名の自衛消防講習修了者を有して災害に備えるなど、防災意識強化を図っている。 等

## 奈良女子大学

### 【注目される点】

#### ○ 全学生を対象とした情報セキュリティチェック

「情報セキュリティ等教育計画」を年度ごとに策定し、学生の情報セキュリティの意識向上を図るため、全学生を対象に情報セキュリティチェックを実施している(回答率74.0%)。また、「新任職員研修」「新入大学院生向けガイダンスI」「情報処理入門I(新入生向けガイダンス)」「臨時新入生向けガイダンス」において、情報倫理教育及び情報セキュリティ教育を実施するなど、大学構成員の情報セキュリティ意識向上の取組を行っている。 等

和歌山大学

【注目される点】

該当なし

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Gチーム）

法人名	チ ー ム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
弘前大学	G	一定の注目事項	順調	順調	順調
秋田大学		順調	順調	順調	順調
山形大学		順調	順調	順調	順調
群馬大学		特筆	順調	順調	順調
富山大学		順調	順調	順調	順調
金沢大学		順調	順調	順調	順調
福井大学		順調	順調	順調	順調
山梨大学		順調	一定の注目事項	順調	順調
岐阜大学		特筆	順調	順調	順調
三重大学		順調	順調	順調	順調
鳥取大学		順調	順調	順調	順調
島根大学		順調	一定の注目事項	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

## 評価「特筆」がある法人とその要因

### 群馬大学：業務運営

#### ○ 両大学長のリーダーシップによる全国初の共同教育学部の実現

約15年先の教員需要の減少を見据え、地域の義務教育課程に責任をもって当たる体制の構築や教員の資質能力向上への要請に応えるため、宇都宮大学と群馬大学の両大学の学長をトップとした協議会及び理事をトップとしたワーキンググループを設置し、教育学部の連携・協力に関する協議を進めた結果、令和2年4月から共同教育学部を全国初として設置することとしており、両大学の連携・協働によるスケールメリットを活かした質の高い教員養成機能の強化及び地域の義務教育課程、教員研修体制に対して責任を持つ組織体制・実施体制を安定して維持していくことを実現している。

### 岐阜大学：業務運営

#### ○ 地域創生への貢献と国際競争力の推進を目指した新たな法人「東海国立大学機構」の実現

東海国立大学機構設立に向けて「スタートアップビジョン」を策定し、その実現に向け、重点4分野の教育研究拠点の整備を進めるとともに、大学の教育関係組織を連携させ、教育をデザインするアカデミック・セントラルの実現へ向けた取組を推進しているほか、事務組織として戦略的な人員の配置を目指し、財務会計システムの統一化などの業務の集約化や岐阜大学のイノベーション創出環境を整備・強化するため、東海国立大学機構に学術研究・産学官連携統括本部を、岐阜大学と名古屋大学にそれぞれ学術研究・産学官連携推進本部を設置することを決定するなど、大学の強みをさらに強化している。

## 評価「一定の注目事項」がある法人とその要因

### 弘前大学：業務運営

- 教員業績評価と連動した年俸制給与制度の整備
- 地域の教育委員会のニーズに沿った教育体制の整備
- 地域における多様な課題を解決するための教育研究組織体制の充実
- 技術職員の集約・組織化のための技術部設置

### 山梨大学：財務内容

- 市場調査チームの結成による経費削減
- イノベーション強化本部の設置に伴う知的財産権活用率の上昇

### 島根大学：財務内容

- 科学研究費補助金の獲得額の増
- 先端金属グローバル拠点創出事業の推進による外部資金比率（共同研究）の上昇

## 評定「おおむね順調」または「遅れている」がある法人とその要因

該当なし

### 各法人の状況

#### 弘前大学

##### 【注目される点】

##### ○ 地域における多様な課題を解決するための教育研究組織体制の充実

大学と地域が新しい知を共に創造することを「地域共創」と位置づけ、「地域共創を科学する」研究科を目指す「地域共創科学研究科」及び青森県において心理支援職が不足し、公認心理師の養成機関が県内に存在しない現状を踏まえ、「医学部心理支援科学科」を令和2年度より設置することとしており、地域における多様な課題を解決できる素養を持った学生を輩出する教育研究組織を整備している。 等

#### 秋田大学

##### 【注目される点】

該当なし

#### 山形大学

##### 【注目される点】

##### ○ 「山形大学ファンドレイジング（YU-FR）戦略」による山形大学基金の拡充

平成31年4月に「寄附金受入推進室」を「山形大学基金事務室」に改編し、「山形大学校友会事務局」と一体となって基金拡充を図るとともに、「山形大学ファンドレイジング（YU-FR）戦略」を策定し組織的・戦略的なファンドレイジングを開始しているほか、基金事務室の職員2名が日本ファンドレイザー協会准認定ファンドレイザーの資格を取得するなど取組を進めた結果、令和元年度の受入額は目標の1,400万円の約1.4倍増の1,966万円を受け入れている。 等

##### 【遅れている点】

##### ○ 臨床研究に関する倫理指針への不適合

## 群馬大学

### 【注目される点】

#### ○ クロスアポイントを活用した学長特別補佐の配置

大阪府立大学とのクロスアポイントメント契約により、管理会計、経営学を専門とする教員（准教授）を企画戦略室経営戦略担当の学長特別補佐として採用することで、経営の効率化、効果的な計画・予算の策定に向けた検討を進めるとともに、当該教員を講師とした経営戦略セミナーを5回開催し、「大学経営における経営管理」、「PDCAをまわすための組織作り」といった組織運営から、「効果的な計画・予算作成」、「効果検証入門」、「エビデンスベースの考え方：大学における測定内容について」といった業務の効率化・経営力強化に係る手法について研修を行い、経営主体である役員を始めとして、管理職、中堅職員、一般職員等の教職員の知識習得・行動促進に繋がっている。

### 【遅れている点】

#### ○ 入学選抜試験における出題ミス

## 富山大学

### 【注目される点】

#### ○ 大学のプレゼンス・ブランド力向上に向けた積極的な情報発信の強化

大学が実施する持続可能な開発目標（SDGs）」達成に向けた取組について、学内及び学外に対して広く共有を図るため、取組事例の一覧をウェブサイト上で公開し、積極的に情報発信を行っているとともに、一般市民を対象としてSDGsの更なる普及を行うため、富山市が開催した「富山市SDGsウィーク」（令和2年1月20日～26日）のイベント企画「SDGsギャラリー展」において訪れた参加者に対してオリジナル冊子を配布し、取組事例を分かりやすく紹介しているほか、学生・教職員全員が、富山大学の魅力向上についてともに考え、取り組む意識を醸成するため「つくりあげようおもしろい大学フォーラム」を実施し、学生・教職員及び地域住民等、約300名が参加している。

## 金沢大学

### 【注目される点】

#### ○ AIを活用した効果的な事務運営の実施

複雑化していた授業料免除の申請手続きについて、支援業務の効率化を図るとともに学生支援の更なる充実を図ることを目的とし、平成30年度に実施した満足度調査の結果等を踏まえ、授業料免除に関する問合せ対応におけるAIチャットボットシステムについて平成31年4月から本格的な運用を開始しており、学生からの授業料免除に係る問い合わせについてAIが自動回答することにより、相談・対応について24時間体制を実現しており、平成31年1月から令和2年3月の間、延べ2,250名が利用しており、担当係も従来個々に対応していた問い合わせ業務の負荷が軽減されている。 等

## 【遅れている点】

### ○ 情報セキュリティマネジメント上の課題

#### 福井大学

## 【注目される点】

### ○ 戦略的な情報発信の取組

広報センターを中心に、広報対象を15のステークホルダーに区分し、それぞれに広報目的、目標、方法を定め効果的な広報媒体を活用し広報活動を実施してきた結果、「就職に強い大学」との評価が広く認知されたことを受け、大学のキャリア支援を題材に地域活性化を目的とするドラマ化を実現しており、そのドラマ「シューカツ屋」は、NHK BSで全国放送された地域発ドラマの平均視聴率を大きく上回り1.9%を記録するなど、大学の優れたキャリア支援と人材の地域定着のための取組、福井の「ものづくり」の強みを全国に情報発信している。 等

#### 山梨大学

## 【注目される点】

### ○ 市場調査チームの結成による経費削減

調達に関して専門的知識を有する民間企業経験者を専任で配置した「市場調査チーム」を令和元年10月に結成し、事業決定プロセスの改善、調達における適正価格のチェック等の経費削減に向けた取組を実施するとともに全職員に向けた学長メッセージの発出により職員一人ひとりに徹底したコスト削減意識を醸成しているほか。学長自らが地元大口卸業者と値引きに向けた徹底討論を実施するなど予算要求段階からの徹底した市場調査の実施、仕様適正性の検証、見積価格等の妥当性及び低廉化の調査、競合他社からの見積徴取による検証、事業計画段階での計画額の妥当性の精査等に取り組んだ結果、約1億3,000万円のコスト削減を実現している。 等

#### 岐阜大学

## 【注目される点】

### ○ 保育所の統合による大学運営費からの支出削減

令和元年度には建物を増築し、認可保育園である「ほほえみ」と認可外保育園である「すこやか」を統合して認可保育園「ほほえみ」となったことにより、大学拠出額がなくなり、保育園収入のみでの運営が可能となっているとともに、受入れ定員を50名から95名（うち地域枠12名から21名）に増加させ、特に受入れ要望が多い0～2歳児に特化した保育体制の整備（大学職員分として最大74名収容可能）を行っており、女性教職員が産後休暇・育児休業から、安心して復帰できる環境整備を強化している。 等

## 三重大学

### 【注目される点】

#### ○ 学外者を活用した附属病院監督管理委員会の設置

部局の中でも特に大学運営に大きな影響を与える医学部附属病院の運営状況を監督するため、学長のもとに、理事・経営担当副学長・学外有識者3名の計5名を構成員とする「三重大学医学部附属病院監督管理委員会」を新たに設け、附属病院のガバナンス体制、予算執行状況、三位一体改革（働き方改革・地域医療構想・医師偏在対策）への取組状況等についてヒアリングなどによる点検が行われ、その結果は病院長と学長にフィードバックされ、附属病院と大学本部組織との一体的な運営体制のさらなる充実に大いに寄与している。 等

## 鳥取大学

### 【注目される点】

#### ○ 大学情報の発信に関する取組

SDGsにつながる大学の教育・研究・社会貢献等の取組を155件取りまとめ、その内容を大学公式Webサイト及び日本海新聞紙面に掲載し、大学の研究成果等を広く社会に情報発信している。附属病院では、「誰が読んでも面白い」冊子を目指し、スーパーバイザーにテレビチーフプロデューサー、編集長にノンフィクション作家その他各分野で活躍する多様な人材を集め編集チームを結成し制作にあたり、広報誌「カニジル」を創刊しており、カバーストーリー「鳥大の人々」、特集「医療の世界をいかに知る」など、大学病院の人々、医療について多角的にフォーカスをあて、丁寧に切り取っていくことで、病院の新しい魅力を発信している。 等

## 島根大学

### 【注目される点】

#### ○ SDGsの取組の発信

令和元年度においてSDGsに対する行動指針を策定し、経営理念としての大学憲章の直下に位置付け、指針を経営・活動方針の判断基準とすることを徹底し、SDGsの達成を目指して教育・研究・医療・地域・国際貢献等を実施することにより、世界における持続可能でインクルーシブな未来の構築に貢献する取組を推進しており、大学が取り組んでいるSDGsの活動について専用ウェブサイト을新たに作成し、「17の目標及び169のターゲット」に基づき、それぞれの活動の主体となる教員や部署等がカテゴリー分けを行い、広報部署において確認後、ウェブサイトに掲載し情報発信を行っている。 等

## 令和元年度評価結果（案）の概要（Hチーム）

法人名	チーム	業務運営・財務内容等の状況			
		業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
信州大学	H	順調	順調	順調	順調
山口大学		順調	順調	順調	順調
徳島大学		順調	順調	順調	順調
香川大学		順調	順調	順調	順調
愛媛大学		順調	順調	順調	順調
高知大学		順調	順調	順調	順調
佐賀大学		順調	順調	順調	順調
長崎大学		順調	順調	順調	順調
熊本大学		順調	順調	順調	順調
大分大学		順調	順調	順調	順調
宮崎大学		順調	順調	順調	順調
鹿児島大学		順調	順調	順調	順調
琉球大学		一定の注目事項	順調	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

### 評定「特筆」がある法人とその要因

該当なし

## 評定「一定の注目事項」がある法人とその要因

琉球大学：業務運営の改善及び効率化

- 事務系職員の資質向上及び能力開発を目的とした研修ポートフォリオの導入
- 組織の枠を超えた「首里城再興学術ネットワーク」の設置
- SDGs の達成に資する活動

## 評定「おおむね順調」または「遅れている」がある法人とその要因

該当なし

## 各法人の状況

### 信州大学

#### 【注目される点】

- 事務職員を対象とした経営企画力向上の取組

副課長級以上を対象とした経営企画力向上研修について、大学業務全般の知識を養い経営企画能力の基礎を身に付けさせるために、新たに主査級以下の研修体系にも組み入れて、令和元年度においては「淘汰の時代に突入した中で大学職員が果たすべき役割」をテーマとした講演、WBS（Work Breakdown Structure）を用いた業務マネジメントの手法についてのグループワークを実施している。

#### 【遅れている点】

- 入学者選抜における出題ミス

### 山口大学

#### 【注目される点】

- アジア初となる欧州国際水準の獣医師育成教育機関に認定

山口大学共同獣医学部及び鹿児島大学共同獣医学部は、獣医学教育の欧州国際認証である欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）認証を令和元年12月にアジア地域として初めて取得し、国際水準を満たす教育体制の整備、カリキュラムの改善、教育コンテンツの充実に取り組んでいる。 等

## 徳島大学

### 【注目される点】

#### ○ 内部質保証の優れた取組

教育の成果・効果を検証するためのアンケート調査、学生生活実態調査、学生の学修に関する実態調査を実施し、分析結果を報告書にまとめることにより、学生からの意見を体系的に分析する取組を組織的に行っている。これにより、正課外における学生の英語学習支援を強化するなど、それらの意見を反映した取組につなげている。また、「内部質保証に関する方針」において、教育分野の特性に応じた外部評価等を積極的に受審し、その結果を内部質保証に活用する体制を定め、機関別内部質保証に活用している。 等

## 香川大学

### 【注目される点】

#### ○ 事務組織の再編による機能強化

業務執行体制の明確化、企画立案機能の充実を目的として、法人本部を室制から部制とするなど、事務組織を再編するとともに、産官学連携体制の強化を図るため「地域創生推進部」を、地域定着・地方創生に貢献する人材養成を行うため「共創人材養成グループ」を設置することとしている。 等

## 愛媛大学

### 【注目される点】

#### ○ 新たな教員業績評価制度の導入

教員の能力や成果を厳格かつ公正に評価し、その評価結果をより適切に処遇等に反映することを目的として、新たな教員業績評価制度を導入し、その評価の実施に当たっては、新たに愛媛大学教員業績評価システム（E-PAS）を設置し、教員評価資料及び個人業績データベースを含むデータ等を評価に活用するとともに、教員の業績を全学的に一元管理することとしている。 等

## 高知大学

### 【注目される点】

#### ○ SDGsに関する取組の情報発信

SDGsに関する方針や取組をまとめた「Kochi University SDGs Action」を作成し、取組事例集を掲載するとともに、大学の研究活動がSDGsにどのように貢献しているかを明らかにしている。また、作成した「Kochi University SDGs Action」はウェブサイト等で公開し、学内外へ積極的に発信している。 等

## 佐賀大学

### 【注目される点】

#### ○ 業務効率化の取組

事務改善委員会の下に若手から副課長級までの事務系職員18名により構成する全学的なRPA導入検討プロジェクトチームを立ち上げ、人事システムでの退職者処理作業や外部資金集計業務等4つの業務にRPAを導入することとし、年間換算合計で従来の462時間から90時間へと372時間の減となり、81%の業務時間削減を達成するとともに、人工知能（AI）チャットボットを利用した「AIヘルプデスク」については、受験生向けのみだったものから在学生向けへとサービスを拡大し、1年間で約12,000件の質問があり、事務職員1名の6月分の業務量に相当する省力化を達成するなど、業務の効率化が図られている。 等

## 長崎大学

### 【注目される点】

#### ○ 教員の活動状況の可視化に関する取組

教員の業績収集及び可視化するシステムを実用化するため、管理・運営に関する「長崎大学教員活動状況システム管理規則」を制定するとともに、教員の活動状況分析の実施に係る必要事項や分析結果を教員の給与等に反映できることを定める「長崎大学における教員活動状況分析の実施要領」を制定し、「教員の活動状況分析」を本格稼働している。同分析による結果は、各教員に通知するとともに、実施要領に基づき、賞与の優秀者等選考において、分野ごとに各職位から「特に優秀」「優秀」となる教員を選考するための基礎データとして活用している。 等

## 熊本大学

### 【注目される点】

#### ○ 熊本地震からの復興に向けた取組

熊本地震からの復興に向けて長期的な学習・学校支援を行うため、平成31年4月に益城町教育委員会等と協定を締結し、「教育学部ましきプロジェクト」を立ち上げ、仮設団地における夜間学習会や中学校における定期試験前放課後学習会、不登校児童・生徒に対する支援学生の派遣等を実施している。 等

## 大分大学

### 【注目される点】

#### ○ 財源の多元化と社会貢献活動の取組

財源の多元化と社会貢献活動の取組として、病気等でウィッグを必要とする子供たちを支援するための社会貢献型自動販売機（ヘアドネーション支援自動販売機）を国立大学では初めて設置している。これにより、売上金の一部が事業者から大学に納入されるとともに、事業者を通じNPO法人に売上金の一部が寄附されることとなっている。

### 【遅れている点】

#### ○ 研究費の不適切な経理

## 宮崎大学

### 【注目される点】

#### ○ オフィス貸付制度による共同研究等の加速度的な展開

包括連携協定を締結している企業等に、産学・地域連携センターのスペースを教育研究オフィスとして貸し付ける制度を構築している。これにより、JA宮崎経済連が、高性能の分析機器を整備した「共同研究スペース」と「事務所兼会議スペース」を有した「宮崎大学オフィス」を開設し、農業現場の課題解決へ直結する共同研究の推進拠点、及び人材育成拠点・学生との交流拠点として活用している。 等

## 鹿児島大学

### 【注目される点】

#### ○ 新合同センター「ヒトレトロウイルス学共同研究センター」の設置による研究教育の拠点化

鹿児島大学の「難治ウイルス病態制御研究センター」と熊本大学の「エイズ学研究センター」を再編・統合し、平成31年4月1日に難治性ウイルス感染症の克服を目指す「ヒトレトロウイルス学共同研究センター」を設置し、研究教育の拠点化を図っている。またヒトレトロウイルス学共同研究センターキックオフシンポジウムを開催し、国内外からの著名な研究者による特別講演と両キャンパスの研究紹介を実施している。 等

### 【遅れている点】

#### ○ 入学者選抜における出題ミス

## 琉球大学

### 【注目される点】

#### ○組織の枠を超えた「首里城再興学術ネットワーク」の設立

令和元年10月に焼失した首里城の再建を多様な学術的視点から支援するため、学内外の研究者が参加する「首里城再興学術ネットワーク」を設置し、シンポジウムの開催、ポータルサイトの開設、現場視察と首里城関係者との意見交換会を実施している。また、令和2年度以降は、首里城再興に資する多様な研究活動を推進するため、学内公募型の研究プロジェクトを実施するとともに、復興に携わる関係者の取組や研究・教育に対する期待等、相互理解を図るためワークショップ等の開催を行うこととしている。 等

**令和元年度評価結果（案）の概要**  
（大学共同利用機関法人分科会）

法人名	業務運営・財務内容等の状況			
	業務運営の改善 及び効率化	財務内容の 改善	自己点検 ・評価	その他 業務運営
人間文化研究機構	順調	一定の注目事項	順調	順調
自然科学研究機構	順調	順調	順調	順調
高エネルギー加速器研究機構	順調	順調	順調	順調
情報・システム研究機構	順調	順調	順調	順調

※評定は、上から順に「特筆」「一定の注目事項」「順調」「おおむね順調」「遅れ」「重大な改善事項」となっている。

**評定「特筆」がある法人とその要因**

該当なし

**評定「一定の注目事項」がある法人とその要因**

人間文化研究機構：財務内容の改善

- 研究資源の社会への還元がもたらす収入の増加
- 産学連携及び国際共同研究の推進による共同研究収入の増加

**評定「概ね順調」または「遅れている」がある法人とその要因**

該当なし

## 各法人の状況

### 人間文化研究機構

#### 【注目される点】

#### ○ 産学連携及び国際共同研究の推進による共同研究収入の増加

国立歴史民俗博物館は、花王株式会社との産学連携共同研究の成果について連名で学会発表を実施し、国立国語研究所は、フランス社会科学高等研究院（EHESS）と協定を結び、日本語「起源」論に関する国際共同研究を実施するなど、民間企業や海外の機関との共同研究を積極的に実施している。これらの取組により、機構全体の共同研究収入は1,743万8千円、業務活動収入に対する共同研究収入の割合は対前年度比302.7%増となっている。 等

#### 【遅れている点】

#### ○ 研究費の不適切な経理

### 自然科学研究機構

#### 【注目される点】

#### ○ ブラックホールの撮影成功と世界同時記者会見の実施

国立天文台研究者を含む、日米欧等世界13機関を中心に200名以上の研究者が参加する地球規模の国際共同研究プロジェクト「イベント・ホライズン・テレスコープ（EHT）」はブラックホールの輪郭の初撮影に成功している。国立天文台は我が国の代表機関として、世界6か所での同時記者会見に世界の主要機関と対等な立場で参加することで、我が国の本プロジェクトにおける国際的なプレゼンスの高さを示すことに成功している。本記者会見は、世界的ブームを巻き起こしたほか、国内においても、新聞記事445件、TVニュース15件に加え、NHKのTV特集番組で取り上げられるなど、国内外を問わず大きな反響を得ている。 等

### 高エネルギー加速器研究機構

#### 【注目される点】

#### ○ 新型コロナウイルス感染症対策で学校が臨時休業となった子供達への科学技術広報

新型コロナウイルス感染症対策で学校が臨時休業となった子供向けに、機構の広報室員が中心となり、全国の大学等の広報担当者と合同で、科学技術を特別企画とするウェブサイトを1日で立ち上げている。機構からもライブ配信による特別講座等を実施し、令和2年2月29日～3月31日まででメディア掲載等21件、アクセス数829,655件、SNSのフォロワー数が対前年度比で1,562件増加、動画共有サービスにおけるチャンネル登録者数が936件増加という非常に大きな反響を得ている。 等

**【遅れている点】**

- 予期せぬ火災事故発生へのリスクマネジメント

**情報・システム研究機構****【注目される点】**

- 知的財産の活用等を通じた産学連携活動における自己収入増

国立遺伝学研究所は、企業と研究者双方の希望に合致した条件・対価・契約形式を提案し円滑な契約締結を行うことで、企業との共同研究・ライセンス契約・有償 MTA 等を促進し、過去最高の共同研究収入実績を記録した平成 30 年度と比較して、収入は約 3,200 万円増の約 6,700 万円、契約締結件数は 20 件増の 52 件と活発に産学連携活動に取り組んでいる。これらの取組みにより、法人の業務活動収入に対する共同研究収入の割合は対前年度比 121.5%と増加している。

**【遅れている点】**

- 寄附金収入の減少
- 研究費の不適切な経理